

(1) コミュニティバス「フラワー号」について

◆コミュニティバス「フラワー号」の利用状況

令和4年度のフラワー号の運行は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の中での運行であったが、令和3年度に比べ利用者数は増加し順調に回復している。令和5年度も増加傾向で、コロナ以前の令和元年度の利用状況に近づいている。

① 4年間のコース別利用状況

令和4年度利用状況は437,500人、令和3年度に比べ51,327人、率にして約13.3%の増加となり、令和元年度の約89.3%まで回復している。

利用者合計（人）										
年度	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体	
令和4年度	75,567	85,368	119,585	18,285	36,356	45,255	21,871	35,213	437,500	
令和3年度	63,034	72,821	108,329	15,478	29,546	44,232	18,849	33,884	386,173	
令和2年度	59,240	62,360	93,701	12,476	29,068	42,577	15,691	32,059	347,172	
令和元年度	81,945	91,294	130,086	14,811	35,705	65,223	23,298	47,517	489,879	(増減率)
増減(R4-R3)	12,533	12,547	11,256	2,807	6,810	1,023	3,022	1,329	51,327	13.3%
増減(R4-R1)	-6,378	-5,926	-10,501	3,474	651	-19,968	-1,427	-12,304	-52,379	-10.7%

② 令和5年度利用状況

令和5年度の利用状況は4月から8月末までの累計で201,788人、令和4年度に比べ19,457人、率にして約10.7%の増加となり、令和5年度末の利用状況として484,000人、令和4年度に比べ46,500人の増加を見込んでいる。

各年度4月～8月 利用者合計（人）										
年度	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体	
令和5年度	36,685	38,273	55,326	7,898	14,863	22,267	10,216	16,260	201,788	
令和4年度	31,601	35,185	49,312	7,310	15,311	19,249	9,058	15,305	182,331	(増減率)
増減(R5-R4)	5,084	3,088	6,014	588	-448	3,018	1,158	955	19,457	10.7%

年度	利用者合計
令和5年度(見込み)	484,000人
令和4年度	437,500人
増減(R5-R4)	46,500人

③ 4年間の収支及び利用者数

令和4年度の運行費用は156,750,954円で、令和3年度に比べ、燃料費の高騰、人件費の増加、EVバスの導入等により4,586,042円増加となったが、運行収入も増加したため市補助金額は令和3年度とほぼ同額である。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数(A) ()は有料利用者	489,879人 (403,041人)	347,172人 (261,143人)	386,173人 (285,494人)	437,500人 (319,104人)
運行費用(B)	145,698,269円	141,579,412円	152,164,912円	156,750,954円
運行収入(C)	47,591,234円	36,388,280円	41,226,990円	45,698,583円
収支率(C)/(B)	32.7%	25.7%	27.1%	29.2%
市補助金額=(B)-(C)	98,107,035円	105,191,132円	110,937,922円	111,052,371円

④ 曜日別の運行状況

ア 現在の運行本数

フラワー号の運行は、月曜日から金曜日及び土曜日を平日ダイヤ、日曜日及び祝日を休日ダイヤとし、休日ダイヤでは約半分に減便している。

【便数】

(便)

	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体
平日・土	40	35	43	15	18	18	18	17	204
日・祝	18	16	21	15	10	10	10	10	110

イ 令和4年度利用状況（平日・土曜日・日曜日及び祝日）

フラワー号は通勤通学や通院の利用が多いため、平日に比べ土曜日及び休日の利用者は少ない。

(令和4年度)	平日	土曜日	日曜日・祝日	全体
運行日数	243日	50日	66日	359日
利用者数	356,865人	47,684人	32,951人	437,500人
1日あたり利用者数	1,469人	954人	499人	1,219人

◆土曜日の運行

近年、路線バスにおいては、運転手不足や高齢化などが深刻になっており、運転手不足から現状の運行が維持できず、減便や路線の廃止を行う事例もある。また、働き方改革関連法の適用による労働時間の規制の変更により、労働時間や運転疲労の軽減が図られる一方、人員の確保が必要となる。

コミュニティバス「フラワー号」では、利用者数は回復傾向であるが、エネルギー価格高騰の影響や人件費の増加により運行費用は増加しているため、今後は、通勤通学や通院が主な利用目的であることから、平日の運行形態を概ね維持しつつ、効率化を図りながら、持続可能な運行とする必要がある。

令和6年4月からの土曜日の運行について、以下の内容としたい。

【土曜日の運行】

運転手不足への対応及び減便による効率化を図るため、平日と比較し利用者が少ない土曜日を減便し、休日と同様の運行とする。

なお、運行ダイヤについては、現在の運行事業者の意見を伺い、運行計画（案）を作成し、第2回地域公共交通会議に提案する。

運行便数

※土曜日移行後イメージ（現行の運行便数）

	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体
平日	40	35	43	15	18	18	18	17	204
土・日・祝	18	16	21	15	10	10	10	10	110

◆コミュニティバス「フラワー号」の運行事業者

令和6年4月から運行するフラワー号は、運行車両、運行コース、運賃、割引制度等について大きな変更がないことに加え、運転手の確保等の課題から新規参入は難しいことから、次の運行期間においても安定した運行を継続するため、現在の運行事業者である朝日自動車株式会社及びロイヤル交通株式会社と調整を進めている。